

各 位

2004 年 9 月 8 日
株式会社アルバイトタイムス
(証券コード:2341)
(URL : <http://www.atimes.co.jp>)
代表取締役社長 鈴木 秀和

中間業績予想の上方修正のお知らせ

**期初予想を上回る求人広告の増加により売上・利益共に上方修正
利益の上積み分は先行投資前倒しの原資へ充当**

アルバイト・パート向け無料求人情報誌『DOMO(ドモ)』を編集・発行する株式会社アルバイトタイムス(本社:東京日本橋、代表:鈴木秀和、ジャスダック上場、コード:2341)は、本日開催の取締役会において、2004 年 8 月中間期業績予想(連結・単体)が期初予想を上回ることが確実であると判断したため、お知らせいたします。

■ 2004 年 8 月中間期業績予想の修正 (2004 年 3 月 1 日 ~ 2004 年 8 月 31 日)

1. 業績予想の修正

(連結)

(百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	8,272	8,026	245	3.1%	6,507
売上原価	3,837	3,915	△77	△2.0%	3,308
売上総利益	4,435	4,111	323	7.9%	3,199
販管費	3,417	3,424	△7	△0.2%	2,694
営業利益	1,018	687	330	48.1%	504
経常利益	1,022	692	330	47.7%	502
税引前中間純利益	929	630	299	47.5%	456
中間純利益	540	352	188	53.4%	254
EPS	¥48.07	¥31.34			¥45.52

(注) EPS: 1 株当たり当期純利益(今中間期予想は共に 11,242,080 株で算出)

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

(単体) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	5,116	4,743	372	7.9%	3,464
売上原価	1,235	1,198	36	3.0%	881
売上総利益	3,880	3,544	336	9.5%	2,583
販管費	2,919	2,864	55	1.9%	2,154
営業利益	961	680	281	41.3%	428
経常利益	972	692	279	40.4%	433
税引前中間純利益	877	630	247	39.3%	380
中間純利益	514	369	145	39.4%	216
EPS*	¥45.79	¥32.84			¥38.59
DPS*	—	—			—

(注) 1. EPS: 1株当たり当期純利益(今中間期予想は共に11,242,080株で算出)

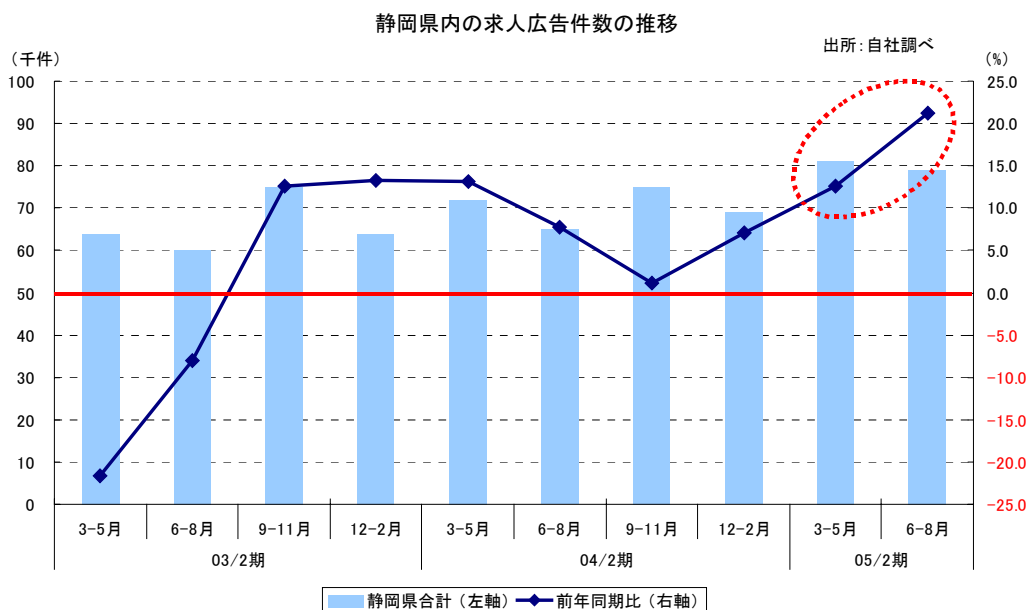
2. DPS: 1株当たり配当金

(DOMO 版別売上高) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
DOMO 合計	4,543	4,216	326	7.7%	2,909
首都圏版	1,451	1,473	△22	△1.5%	830
ヨコハマ版	477	416	61	14.7%	262
静岡3版	2,235	1,965	270	13.7%	1,794
名古屋版	359	354	5	1.4%	22
大阪版	18	6	12	195.3%	—

(注) 単体ベース。連結上の内部取引を含む。

2. 業績予想の修正理由



News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

中間期の業績予想を修正する最大の要因は、アルバイトタイムス単体の業績が期初予想を大きく上回る見込みとなったことです。子会社については、総じてほぼ期初予想通りの見込みとなりました。

アルバイトタイムス単体の業績が期初予想を上回る見込みとなった最大の要因は、静岡県内の求人広告が予想以上に増加し、『DOMO』静岡 3 版の売上高が期初予想を大きく上回っていることです。

期初予想が慎重な見通しとなった理由は、従来は景気に遅行する傾向にあった求人サイクルが、近年はほぼ景気に連動する傾向が見られ、市場の見通しが非常に難しくなっていることです。景気に連動するようになってきた最大の要因は、雇用の流動化と規制緩和の恩恵を受けた人材派遣や業務請負といった人材サービス業の拡大と考えられます。

「人材サービスを積極的に活用することで、必要な時期に必要な人員を確保する。そのことによって収益力を向上させていく。」このような考え方が一般的になりつつあります。つまり、もはや人的投資は設備投資に近い考え方になっているのです。そのため、今後の求人サイクルはより景気に連動していくと考えられます。

期初予想策定時には景況感の改善が確かなものになりつつありましたが、一方で円高などの影響が年後半に表れるといった懸念も少なくありませんでした。そのため、今第 2 四半期より増加率が鈍化し、今第 3 四半期には前年比で減少に転じると見込んでいました。ところが予想以上の景況感の改善が求人市場を押し上げた結果、特に市場シェアの高い静岡 3 版がその恩恵を受けました。

その他の『DOMO』の状況としては、ヨコハマ版が期初予想を上回る見込みとなりました。これは、前下半期より取り組んできた競合無料誌との差別化が予想以上に成果として表れたことによるものです。国内最大の市場に展開する首都圏版は、第 2 四半期では期初予想を上回って推移し、第 1 四半期で遅れた分を取り戻す見込みとなりました。

名古屋版は期初予想通り順調に拡大し、通期黒字化がより確実なものとなりつつあります。6 月に創刊した大阪版は計画通りのスタートを切ることができました。

費用面では、増収により売上原価及び販管費が増加しましたが、増収によりこれらの費用の増加を吸収する見込みです。その結果、営業利益から当期純利益まで期初予想を大幅に上回る見込みとなりました。

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

■ 2005年2月期業績予想の修正 (2004年3月1日～2005年2月28日)

1. 下半期業績予想の修正

(連結) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	8,892	8,699	193	2.2%	7,449
売上原価	4,267	4,152	114	2.8%	3,599
売上総利益	4,625	4,546	78	1.7%	3,849
販管費	3,957	3,595	361	10.1%	2,838
営業利益	667	950	△283	△29.8%	1,010
経常利益	672	954	△282	△29.6%	1,010
税引前純利益	664	947	△282	△29.8%	989
当期純利益	389	544	△154	△28.4%	626
EPS	¥34.63	¥48.39			¥111.77

(注) EPS: 1株当たり当期純利益(今中間期予想は共に11,242,080株で算出)

(単体) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	5,444	5,187	256	5.0%	4,327
売上原価	1,414	1,294	119	9.2%	1,055
売上総利益	4,029	3,892	137	3.5%	3,271
販管費	3,462	3,047	415	13.6%	2,332
営業利益	567	845	△278	△32.9%	939
経常利益	578	856	△278	△32.5%	944
税引前純利益	570	849	△278	△32.8%	921
当期純利益	334	497	△162	△32.8%	548
EPS*	¥29.75	¥44.24			¥97.73

(注) 1. EPS: 1株当たり当期純利益(今中間期予想は共に11,242,080株で算出)


2. DPS: 1株当たり配当金

2. 通期業績予想の修正

(連結) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	17,165	16,726	439	2.6%	13,957
売上原価	8,104	8,067	37	0.5%	6,908
売上総利益	9,060	8,658	402	4.6%	7,048
販管費	7,374	7,020	354	5.1%	5,532
営業利益	1,685	1,638	47	2.9%	1,515
経常利益	1,694	1,647	47	2.9%	1,512
税引前純利益	1,593	1,577	16	1.1%	1,445
当期純利益	929	896	33	3.7%	881
EPS	¥82.71	¥79.74			¥157.34

News Release

株式会社 アルバイトタイムス 

(注) EPS: 1株当たり当期純利益(今中間期予想は共に11,242,080株で算出)

(単体) (百万円)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B-1)	前年実績
売上高	10,560	9,930	629	6.3%	7,792
売上原価	2,649	2,493	156	6.3%	1,937
売上総利益	7,910	7,436	473	6.4%	5,854
販管費	6,382	5,911	470	8.0%	4,487
営業利益	1,528	1,525	3	0.2%	1,367
経常利益	1,550	1,549	1	0.1%	1,377
税引前純利益	1,448	1,479	△30	△2.1%	1,301
当期純利益	849	866	△17	△2.0%	764
EPS*	¥75.54	¥77.08			¥136.37
DPS*	¥8.00	¥8.00			¥14.00

(注) 1. EPS: 1株当たり当期純利益(今中間期予想は共に11,242,080株で算出)

2. DPS: 1株当たり配当金

3. 業績予想の修正理由

売上高は『DOMO』を中心に期初予想を上回る見込みです。その牽引役である静岡3版については、期初予想を上回って推移するものの、前年比の増加率は徐々に鈍化していく見込みです。足元の状況は引き続き好調ですが、歴史的な原油高による景気への影響は不透明であるため、電子部品や自動車といった製造業の恩恵を受けている静岡県内(特に西部地区)の先行きには慎重にならざるを得ません。

利益は通期で期初予想とほぼ同水準となる見込みです。これまでの経営方針に基づき、期初予想を上回る利益については、次なる先行投資に充当するためです。具体的な先行投資の中身については、現在詳細をまとめており、10月中旬に予定している中間決算発表までには公表する予定です。

■ 代表取締役社長 鈴木秀和のコメント

「期初予想を上回る業績の達成が確実となったことを嬉しく思います。特に今回は、期初予想を上回る増収による増益見込みであるため、今まで以上に前向きに捉えています。

景気回復の後押しも大きな要因の一つですが、クライアント(広告主)が求めているレスポンス(応募者数)を他社よりも高めることができている結果だと受け止めています。その表れの1つとして、1広告当たりの平均単価の上昇が挙げられます。この中間期では、『DOMO』全版平均で前年比16%伸びています。

通期の業績予想については、中間業績の上方修正を受け、『DOMO』静岡3版を中心に売上

を上方修正しましたが、来期以降に考えていた先行投資を前倒すため、利益は期初予想を据え置きました。

東京・横浜・名古屋において期初予想通りの高成長を継続し、大阪では計画通りのスタートを切ることができ、我々の戦略及びマーケティング力に対する自信を深めることができました。それに加えて、静岡県内における予想以上の需要の増加により利益の上積みが見込めるようになったため、これまでの経営方針通り、成長を加速させる投資に充当することを決断しました。その具体的な投資内容については中間決算発表までにお話できる予定です。」

■ 株式会社アルバイトタイムスについて

無料求人情報誌『DOMO』を全国展開する求人広告業界のリーディングカンパニー。本格展開から3年で成長エンジンとなった首都圏版、わずか1年で黒字化が見えてきた名古屋版に続き、大きな市場が見込める大阪版を2004年6月に創刊しました。「雇用の流動化」と「情報の無料化」をキーワードにさらなる成長を目指しています。

<http://www.atimes.co.jp/>

■ お問い合わせ先

株式会社アルバイトタイムス

総務部 広報・IR担当 高橋徹弥

E-mail: tetsutaka@atimes.co.jp

TEL: 03-5202-2255

FAX: 03-5202-2300

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-1-14 日本橋加藤ビルディング

#